

2021 年度「書物との出会い イ (近代ヨーロッパと現代)」リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

(1) 書誌情報 / (2) その本が関連する学問領域 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 数が大きいほど難易度が高い / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属

- (1) ガリレオ・ガリレイ (青木靖三訳) (1959 年) 『天文対話』 (上)、岩波文庫、品切れ、ISBN : 9784003390610
ガリレオ・ガリレイ (青木靖三訳) (1961 年) 『天文対話』 (下)、岩波文庫、品切れ、ISBN : 9784003390627
- (2) 学問領域 : 科学史
- (3) キーワード : 近代科学、実験、数学、天動説、地動説
- (4) 難易度 : 3
- (5) 原著は 1632 年に出版された。岩波文庫の表紙には「近代科学の黎明を告げる大著であり、科学革命の宣言書」と紹介されている。近代科学の形成は、実験や観察によって決定的な事実を示せば終わりというものではなく、体系的な認識を全体として再構成する過程を伴った。本書を通して、その過程を具体的に、臨場感をもって追体験できる。個々の論述で難解なところがあっても読み進め、全貌の把握に注力してもらいたい。
- (6) 推薦者 : 北林雅洋 (教育学部)

- (1) ジェームズ・マクラクラン (野本陽代訳) (2007 年) 『ガリレオ・ガリレイ 宗教と科学のはざままで』、大月書店、1,800 円+税、ISBN : 9784272440436
- (2) 学問領域 : 科学史
- (3) キーワード : 近代科学、実験、数学、天動説、地動説
- (4) 難易度 : 1
- (5) ガリレオが遺したノートに基づく研究の成果もふまえて、当時の時代状況との関係で彼の生涯がわかりやすく解説される。関連する学問の歴史を簡潔に概観したうえで、ガリレオの位置を理解することもできる。
- (6) 推薦者 : 北林雅洋 (教育学部)

- (1) エンゲルス (一條和生・杉山忠平訳) (1990 年) 『イギリスにおける労働者階級の状態 19 世紀のロンドンとマンチェスター』 (上)、岩波文庫、900 円+税、ISBN : 9784003412909
エンゲルス (一條和生・杉山忠平訳) (1990 年) 『イギリスにおける労働者階級の状態 19 世紀のロンドンとマンチェスター』 (下)、岩波文庫、970 円+税、ISBN : 978-4003412916
- (2) 学問領域 : 技術史、社会史、経済史
- (3) キーワード : 産業革命、資本主義、工業都市、貧困、教養
- (4) 難易度 : 2
- (5) 原著の初版は 1845 年。産業革命によって「世界の工場」と呼ばれるほどに経済的な発展を遂げた当時のイギリスの社会では、「社会的殺人」とも呼ばれる事態が生まれていた。その状態が、エンゲルス自身の観察と、公的な報告書などの文献に示された事実に基づいて詳細に描かれた。このような状態を生み出したシステムは現代社会においてもその基盤にあり、同様の状態が部分的に見出されることもある。
- (6) 推薦者 : 北林雅洋 (教育学部)

- (1) 玉川寛治 (1999年) 『『資本論』と産業革命の時代 マルクスの見たイギリス資本主義』、新日本出版社、2,420円、ISBN : 9784406026888
- (2) 学問領域 : 技術史、産業考古学
- (3) キーワード : 機械、工場、水車、蒸気機関、工場法
- (4) 難易度 : 1
- (5) 産業遺産に基づく、産業の歴史に関する実証的研究によって、文献からは理解が難しい機械の構造・特徴が明らかにされる。イギリス産業革命の展開が、主に技術の側面から概観される。産業革命における機械の意義だけでなく、その負の側面についても、理解することができる。
- (6) 推薦者 : 北林雅洋 (教育学部)

- (1) 御子柴義之 (2015年) 『自分で考える勇気 カント哲学入門』、岩波ジュニア新書、907円、ISBN : 9784005007981
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード : 理性、批判、自律、啓蒙
- (4) 難易度 : 1
- (5) 「カントの原典にいきなり挑戦するのはちょっと…」と思っているみなさんに、まず読んでもらいたい一冊。身近な出来事とのつながりで、カント哲学のエッセンスと「自分で考えること」の大切さを教えてくれる。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 石川文康 (1995年) 『カント入門』、ちくま新書、907円、ISBN : 978-4480056290
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード : 理性、批判、認識、道徳、美
- (4) 難易度 : 1
- (5) 理性自体に人間を欺く可能性がある—このショッキングな事実の発見こそがカント哲学の出発点だとして、そこから著者はカント哲学の全体像を読み解いていく。本書を読むと、哲学もまたドラマチックな展開を持っているということがよくわかる。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) カント (中山元訳) (2012年) 『道徳形而上学の基礎づけ』、光文社古典新訳文庫、1188円、ISBN : 9784334752521
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード : 人間の尊厳、道徳、理性、義務、善い/悪い
- (4) 難易度 : 3
- (5) 多くの事例に基づいて、善い/悪いとは何か、人間が守るべき道徳の原則とは何か、といった問題について読者に考えさせる倫理学の古典。正直、寝転がって読めるような簡単な本ではないが、この文庫には非常に詳しい解説があるので、そちらを参考にしながら読み進めてほしい。「人間の尊厳」を考える上で、現代でもたびたび引き合いに出される書物なので、大学生のうちにぜひチャレンジしてください。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 辻村みよ子 (2013年) 『人権をめぐる一五講』、岩波現代全書、2640円、ISBN : 9784000291170
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、法学、社会学
- (3) キーワード : 人権、多文化主義、フェミニズム、表現の自由、平和と安全
- (4) 難易度 : 2
- (5) 「人権の保障」という考えは、現代において誰もが認めるべき前提になっているように思える。しかし本書を読み、実例に即して考えてみると、「人権の保障」が、個別の権利や利害同士が衝突する非常に難しいテーマであることが分かる。本書は具体的な事例が豊富で、自分の関心のある考察の糸口がきっと見つかるはず。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 辻村みよ子 (2012年) 『代理母出産を考える』、岩波ジュニア新書、902円、ISBN : 9784005007226
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、法学、社会学
- (3) キーワード : 人権、代理出産、生殖に関する権利 (リプロダクティブ・ライツ)、生殖ビジネス
- (4) 難易度 : 1
- (5) 現代の生殖補助医療の進歩は目覚ましい。カップルの精子と卵子とを受精させて、第三者の女性 (代理母) が代わりに出産することも可能になり、多くの人に希望を与えている。一方で、代理母の抱えるリスク、生まれてくる子どもの心理的負担も指摘されている。こういった状況の中で「産む権利」を主張することがどこまで許されるのか。本書では憲法学、人権論の立場からこの問題に取り組んできた著者が、問題の構造を分かりやすく解説。「生殖に関する権利 (リプロダクティブ・ライツ)」に関する入門書の中でも一押し。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) J・S・ミル (斎藤悦則訳) (2012年) 『自由論』 光文社、1145円、ISBN : 9784334752507
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、政治学、歴史学
- (3) キーワード : 自由、功利主義、幸福、権利
- (4) 難易度 : 2
- (5) 功利主義の立場から自由を最大限に認めあうことが個人にとっても社会にとっても有益であることを論じた本。「自由」について考えるための最も基本になる必読の名著である。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) J・S・ミル (朱牟田夏雄訳) (1960年) 『ミル自伝』 岩波文庫、絶版、ISBN : 9784003411681
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、文学、政治学、教育学
- (3) キーワード : 功利主義、幸福、教育
- (4) 難易度 : 2
- (5) 自分の人生を誠実に振り返って書かれた最良の自伝の一つ。他分野にわたり大きな業績を残したミルの入門書としても役立つ。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) 直江清隆・越智貢 (編) (2012年) 『自由とは』 (高校倫理からの哲学4) 岩波書店、1620円、ISBN : 9784000285445
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、政治学、教育学
- (3) キーワード : 自由、運命、社会、必然性
- (4) 難易度 : 2
- (5) 自由の多義性を、対立項をはっきりさせることで明示し、それぞれ身近なところから、どのような問題があるのかを明示して考えさせてくれる。少しずつ考えながら読むことをすすめる。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) 犬塚孝明 (2001年) 『密航留学生たちの明治維新——井上馨と幕末藩士』 日本放送出版協会、絶版、ISBN : 9784140019214
- (2) 学問領域 : 歴史学
- (3) キーワード : 留学生、日本の近代化
- (4) 難易度 : 2
- (5) 現代は本人のやる気さえあれば誰でも留学できる時代である。しかし、江戸時代末期は「見つければ死罪」という命がけの行為であった。近代化を果たしたヨーロッパを「自分の目で見てみたい!」と、幕末に密航留学した若者たち (例えば伊藤博文) によって、日本の近代化が進められた。映画『長州ファイブ』の背景を知るために必読の書である。
- (6) 推薦者 : 山本珠美 (青山学院大学教育人間科学部)

- (1) 梅溪 昇 (2007年) 『お雇い外国人——明治日本の脇役たち』 講談社学術文庫、972円、ISBN : 9784061598072
- (2) 学問領域 : 歴史学
- (3) キーワード : 明治維新、日本の近代化
- (4) 難易度 : 1
- (5) 「お雇い外国人=日本を世界一流レベルに引き上げるために雇われた外国人」と言うと、誰を思い浮かべるだろうか。歴代のサッカー日本代表監督 (ハリルホジッチ、ザッケローニ、etc.) をはじめ、スポーツの世界ではしばしば外国人指導者が招聘されているのはご存知だろう。しかし、これはスポーツの領域に限ったものではないし、グローバル化が進む現代だけの話でもない。明治初期に日本の近代化に向けて多方面で奮闘努力した「お雇い外国人」についても、ぜひ知って欲しい!
- (6) 推薦者 : 山本珠美 (青山学院大学教育人間科学部)

- (1) 山本昭宏 (2015年) 『核と日本人——ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ』 中公新書、950円、ISBN : 9784121023018
- (2) 学問領域 : 歴史学
- (3) キーワード : 原子力
- (4) 難易度 : 1
- (5) ヨーロッパやアメリカの先端的学問を必死に学んで近代化を果たした日本。1945年にはそれら先端的学問の一つの帰結である原子爆弾による甚大な被害を受けた。日本人は果たしてこの原子力とどう向き合おうとしてきたのか。学界、政界、経済界のみならず、マンガやアニメなどのポピュラーカルチャーの動きにも目を向けつつ、1945年以降現在までの日本人と原子力との関係を読み解いたエキサイティングな本。
- (6) 推薦者 : 山本珠美 (青山学院大学教育人間科学部)

- (1) 魯迅 (竹内好訳) (2016年) 『阿Q正伝・狂人日記 他十二編 (呐喊)』 岩波文庫、734円、ISBN : 9784003202524
- (2) 学問領域 : 文学、社会学
- (3) キーワード : 魯迅、呐喊 (とっかん)、近代中国、封建社会、社会変革
- (4) 難易度 : 1
- (5) 日本でも愛読者の多い魯迅の代表的な短編小説集であり、現実描写とユーモア満載の創作手法は特徴的である。「狂人」、「阿Q」などの人物を描くことによって、近代中国社会の救いがたい病根とは何かを問いかける。
- (6) 推薦者 : 張曉紅 (経済学部)

- (1) 川島真 (2010 年) 『近代国家への模索 1894-1925』(シリーズ中国近現代史②) 岩波新書、929 円、ISBN : 9784004312505
- (2) 学問領域 : 歴史学、社会学
- (3) キーワード : 近代国家、清王朝、辛亥革命、中華民国、割拠
- (4) 難易度 : 2
- (5) 近代中国は諸列強に侵略される半植民地国家と化した。しかし「近代化」が西欧諸国からアジアに伝わってくる過程において中国の「知識人・有志」は日本と同じように「救国」について悩み、近代化への道を模索していた。
- (6) 推薦者 : 張曉紅 (経済学部)

- (1) 原田敬一 (2007 年) 『日清・日露戦争』(シリーズ日本近現代史③) 岩波新書、886 円、ISBN : 9784004310440
- (2) 学問領域 : 歴史学、社会学
- (3) キーワード : 日清・日露戦争、朝鮮、明治、日本帝国
- (4) 難易度 : 2
- (5) 近代日本は、日清・日露戦争から始まった戦争によって東アジアを植民地にし、帝国にのし上がった。両戦争は東アジアの新秩序を形成した。日中韓の歴史認識をめぐる対立の原点はそこにあったかもしれない。
- (6) 推薦者 : 張曉紅 (経済学部)

- (1) 松本健一 (2008 年) 『近代アジア精神史の試み』岩波書店 (岩波現代文庫 社会 158)、1100 円、ISBN : 9784006031589
- (2) 学問領域 : 社会学、歴史学
- (3) キーワード : アジアの共時性、脱亜入欧、共存共栄
- (4) 難易度 : 3
- (5) 本書は近代から今日に至るアジア諸国の歩みを精神史の視点からそれぞれの特徴を明らかにした。アジアの近代形成のみならず、今日のアジアの繁栄・競争・対立を正當に評価するために欠かせない視点も提示してくれる。
- (6) 推薦者 : 張曉紅 (経済学部)

- (1) ガンディー, M. K. (2001 年) 『真の独立への道 (ヒンドゥ・スワラージ)』岩波書店 544 円、ISBN 9784003326121
- (1) 学問領域 : 哲学、歴史学、政治学、経済学、法学
- (2) キーワード : ガンディー、インド、イギリス、植民地、近代文明
- (3) 難易度 : 1
- (4) ガンディーによる主著の一つで、1910 年出版である。その中で彼は、近代文明の中に精神性の軽視と物質主義をみており、イギリスを批判するのではなく、植民地時代に「カンパニー [東インド会社] の人たちの銀」に魅了されたインド人をも批判する。
- (5) 推薦者 : 石井一也 (法学部)

- (1) 竹中千春 (2018年) 『ガンディー—平和を紡ぐ人』岩波書店, 820円、ISBN:9784004316992
- (2) 学問領域: 哲学、歴史学、政治学、経済学、法学
- (3) キーワード: ガンディー、カストゥルバ、ハリラール、ゴードセー
- (4) 難易度: 2
- (5) ガンディーについての近著の一つで、ジェンダーおよび国際政治の研究者によるものである。ガンディーの人生に沿って、かかわりのあった人物が描かれるが、とりわけ妻、長男、そしてガンディーを暗殺した犯人についての記述が特徴的である。
- (6) 推薦者: 石井一也 (法学部)

- (1) 石井一也 (2014年) 『身の丈の経済論—ガンディー思想とその系譜』法政大学出版局, 4104円、ISBN:9784588603358
- (2) 学問領域: 哲学、歴史学、政治学、経済学、法学
- (3) キーワード: ガンディー、身の丈の経済、コンヴィヴィアリティ、近代主義、チャルカー (手紡ぎ車)
- (4) 難易度: 3
- (5) ガンディーの経済思想を、西洋の経済学やマルクス主義との対比において論じ、その近代文明批判および「ポスト近代」を目指す思考および実践を説明したものである。ガンディー以後の思想的系譜を辿り、21世紀における彼の思想の意義を考えている。
- (6) 推薦者: 石井一也 (法学部)

2021 年度「書物との出会い（口）」（男と女）リーディングリスト

*各項目に含まれる内容 (1) 書誌情報 / (2) その本が関連する学問領域 / (3) キーワード : その本が関連するテーマなど / (4) 本の難易度 : 0~3まで (数が大きいほど難易度が高い) / (5) 推薦した教員のコメント / (6) 推薦者の名前、所属

- (1) 長谷川真理子 (1999) 『オスの戦略メスの戦略 (NHK ライブラリー)』日本放送出版協会、絶版、ISBN: 978-4140841044
- (2) 学問領域 : 進化生態学、行動生態学、進化心理学
- (3) キーワード : 進化、有性生殖と無性生殖、自然選択と性選択
- (4) 難易度 1
- (5) 性は繁殖のためにあると誰しも思いがちであるが、二分裂して増える細菌のように性なしで繁殖する生物がいる。そのような祖先型からどのようにして、また何のために性が生じ、雄と雌に二極化し、それが男と女になったのか、進化生物学の見地からこの本は教えてくれます。
- (6) 推薦者 : 安井行雄 (農学部)

- (1) 養老孟司・長谷川真理子 (1998) 『男の見方 女の見方 (PHP 文庫)』PHP 研究所、絶版、ISBN: 978-4569571362
- (2) 学問領域 : 進化生物学、人類学、心理学
- (3) キーワード : セックスとジェンダー、体の性と心の性
- (4) 難易度 1
- (5) 人間社会の中で文化的後天的に作られた性別(ジェンダー)の背後には、進化の過程で備わった生物学的な性(セックス)が隠れている。男と女の性格や物の見方の違いには生物学的な根拠があるのかもしれない。
- (6) 推薦者 : 安井行雄 (農学部)

- (1) 長谷川寿一・長谷川真理子 (2000) 『進化と人間行動』東京大学出版会、2,750 円、ISBN: 978-4130120326
- (2) 学問領域 : 進化生態学、霊長類学、人類学、進化心理学
- (3) キーワード : 人間性の起源、人類の進化
- (4) 難易度 3
- (5) 進化生物学の基礎知識から説き起こし、人間性とは何か、どのようにして動物から人間は生まれたのかを解説する「進化心理学」の代表的教科書
- (6) 推薦者 : 安井行雄 (農学部)

- (1) 井上俊・伊藤公雄編 (2010)『社会学ベーシックス第5巻 近代家族とジェンダー』世界思想社、2,160 円、ISBN: 978-4790714491
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：近代家族、ジェンダー、フェミニズム
- (4) 難易度 2
- (5) 社会学がこれまで蓄積してきた知的成果を基本文献の解題という形でまとめたシリーズの 1 冊で、近代家族やジェンダーについて学ぶことができる。取り上げられた文献はその歴史的意義や現在の評価を考慮して選ばれており、文献解題は、内容の解説、著者のパーソナル・ヒストリーに関するスケッチ、学説史上の背景や意義の 3 セクションから成る。近代家族のゆくえ、ジェンダーという視座、いずれも基本文献に触れることで学ぶことは多い。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

- (1) 上野千鶴子 (2010)『女ざらいーニッポンのミソジニー』紀伊国屋書店、1,620 円、ISBN:978-4-314-01069-6
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：ミソジニー、性の二重基準、自己嫌悪、現代社会
- (4) 難易度 3
- (5) 男性にとっての「女性嫌悪」、女性にとっての「自己嫌悪」に着目して、様々な角度から現代社会を解説しながら、「男社会」の現実を解剖していく書である。ジェンダー研究のパイオニアとされる著者が、「どんなに不快であれ、そこから目をそむけてはならない現実」として書き継ぎ、「それを知ることによって、それがどんなに困難でも、その現実を変えられる可能性がある」とし、「共感も反感も含めて、本書には波紋を拡げてほしい」と言っている。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

- (1) 水無田気流 (2015)『「居場所」のない男、「時間」のない女』日本経済新聞出版社、1,404 円、ISBN : 978-4-532-16955-8
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：近代家族、男性問題、ワークライフバランス、サラリーマン家庭
- (4) 難易度 2
- (5) 現代の日本人男性は、仕事以外の人生の選択肢に乏しく「世界一孤独」とされ、日本人女性は、婚活・妊活などのタイムリミットに追われ続けて自分の時間が確保できない状況におかれている。サラリーマンの夫と妻という現代の家族のありように、本当に幸福なのかと疑問を投げかけ、男女ともに幸福になるための方法論を展開している。現在の気鋭の社会学者による書であり、かなり個性が強いので、十分に読み込んだ上でしっかり反論してもらいたい。
- (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

- (1) 若桑みどり (2003) 『お姫様とジェンダー』ちくま新書、740 円、ISBN-10 : 4480061150
- (2) 学問領域 : 社会学、ジェンダー・スタディーズ
- (3) キーワード : ジェンダー
- (4) 難易度 2
- (5) 白雪姫、シンデレラ、眠り姫などのディズニーアニメをジェンダーの視点から読み解く。筆者の授業を受けた学生の感想も掲載されており、この本を読み終えた後には、これまでとは異なったディズニーアニメの見方ができるようになっているはず。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 本橋哲也 (2015) 『ディズニー・プリンセスのゆくえ』ナカニシヤ出版、2160 円、ISBN-10: 4779510589
- (2) 学問領域 : 社会学、カルチュラル・スタディーズ
- (3) キーワード : ディズニー
- (4) 難易度 2
- (5) 白雪姫やシンデレラといったディズニーアニメから、近年の実写版シンデレラやマレフィセントまでを題材として扱い、カルチュラル・スタディーズの側面からディズニー・プリンセスについて考察した本。上記の『お姫様とジェンダー』と比較しても興味深い。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 伊藤公雄・牟田和恵編 (2015) 『ジェンダーで学ぶ社会学 (全訂新版)』世界思想社、1,944 円、ISBN : 4790716686
- (2) 学問領域 : 社会学
- (3) キーワード : ジェンダー、社会学
- (4) 難易度 2
- (5) 「育つ」「学ぶ」からはじまり「シェーカツする」「愛する」「ケアする」等、この本ではトピックごとにジェンダーについて学ぶことができる。社会学領域におけるジェンダー論の基本はもちろんのこと、変化球も組み込まれており、何かしらの新しい視点を提示してくれるはず。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 野口芳子 (2016) 『グリム童話のメタファー: 固定観念を覆す解釈』勁草書房、3024 円、ISBN : 4326800585
- (2) 学問領域 : ジェンダー・スタディーズ
- (3) キーワード : ジェンダー、グリム童話、メタファー
- (4) 難易度 2
- (5) 本書では、メタファーを解説しながらグリム童話を読み進める。その際には、中世、近世、近代の価値観についての検証が欠かせない。特に、男性・女性それぞれに求められる社会的期待の違い、ジェンダーを意識することで、グリム童話に対する新解釈を可能とする。
- (6) 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 有馬哲夫 (2003) 『ディズニーの魔法』新潮社、756 円、ISBN : 4106100444
- (2) 学問領域 : メディア論
- (3) キーワード : メディア、ディズニー、民話
- (4) 難易度 1
- (5) ディズニー・マジックによって、ヨーロッパの古典童話は「アメリカの民話」となった。本書は、原作とディズニーアニメを比較しながら、その変更の舞台裏を紹介する。ディズニーアニメがいかに人々の意識を反映させているのか、検討する際の参考にしてほしい。
- (6) 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 濱田智崇・[男] 悩みのホットライン編 (2018) 『男性は何をどう悩むのか—男性専用相談窓口から見る心理と支援』、ミネルヴァ書房、2,808 円、ISBN : 978-4623082438
- (2) 学問領域 : 心理学
- (3) キーワード : 男性問題、男性相談
- (4) 難易度 2
- (5) 男性ならではの問題を、「相談」という切り口から示したのが本書である。相談担当者向けの専門書でもあり、社会問題だけでなく各事例に対する支援の実際についても書かれているのが特徴である。
- (6) 推薦者 : 高田 純 (保健管理センター)

- (1) 伊藤公雄 (1996) 『男性学入門』、作品社、1,728 円、ISBN : 978-4878932588
- (2) 学問領域 : 社会学
- (3) キーワード : 男性問題、ジェンダー
- (4) 難易度 1
- (5) 『男性学』とは何か、その古典ともいえる本書が発行されて 20 年以上が経っているが、今もなお迫力がある。現代では理解しがたい内容もあるかもしれないが、親世代の価値観と重なるところもあるので、時代的な背景も考慮しながら読み進めていくとよいだろう。
- (6) 推薦者 : 高田 純 (保健管理センター)

- (1) 河合隼雄 (2008) 『とりかえばや、男と女』新潮社、1,296 円、ISBN:4106036169
- (2) 学問領域 : 心理学
- (3) キーワード : ジェンダー、深層心理
- (4) 難易度 2
- (5) 『とりかえばや物語』は、平安時代に描かれた男女逆転の物語である。「男らしさ」とは？「女らしさ」とは？物語からみえてくる、ジェンダーと性愛の深層を心理学の立場から読み解いていく。
- (6) 推薦者 : 高田 純 (保健管理センター)

- (1) 高橋秀樹(2004)『中世の家と性 (日本史リブレット)』山川出版社、864 円、ISBN : 978-4634542006
- (2) 学問領域 : 歴史学 (日本史)
- (3) キーワード : 家族史、生活史、性差
- (4) 難易度 1
- (5) 日本中世の家族史・生活史について、女性史・男性史、あるいは性差の視点から、これまでに明らかになっている基本的な情報や歴史認識についてわかりやすく論じている。基本的な知識を身につけるのに適当な良書である。
- (6) 推薦者 : 守田逸人 (教育学部)

- (1) 清水克之 (2015)『耳鼻削ぎの日本史』洋泉社、950 円、ISBN : 978-4-8003-0670-8
- (2) 学問領域 : 歴史学 (日本史)
- (3) キーワード : 身体刑、習俗、性差、人間観
- (4) 難易度 3
- (5) 前近代の日本列島で行われていた耳鼻削ぎの身体刑は、鎌倉時代の地頭の非法行為として高校の日本史教科書にも登場するなど、よく知られているところである。しかし、耳鼻削ぎの習俗は、おもに女性に対して行われた身体刑であることはあまり知られていない。本書は、その習俗が存在した歴史的意味を理解し、いまでも現実に世界で行われているこうした習俗について、考えるきっかけになるであろう。
- (6) 推薦者 : 守田逸人 (教育学部)

- (1) 池上俊一 (2001)『身体の中世』筑摩書房、1,500 円、ISBN : 4-480-08666-8
- (2) 学問領域 : 歴史学 (西洋史)
- (3) キーワード : 身体、表象、感性、人間観
- (4) 難易度 3
- (5) 西洋中世社会における人間や人間の身体、あるいは目や耳など人間を構成する様々な部位等に対する認識のあり方、または人間の表情やしぐさのあり方について広く考察したものである。本書は「男と女」の論点にとどまらず広い視野で論が展開しているが、講義内容をふまえて「男と女」の視点から読み解くことで、様々な角度から「男と女」がどう認識されてきたか、理解を深めることができる。
- (6) 推薦者 : 守田逸人 (教育学部)

- (1) 網野善彦 (2005) 『中世の非人と遊女』 講談社学術文庫 1,037 円、ISBN : 978-4-06-159694-8
- (2) 学問領域 : 歴史学 (日本史)
- (3) キーワード : 心性、女性、差別、人間観、社会観
- (4) 難易度 3
- (5) 日本の歴史学が農業、とくに水田を軸とした社会の分析に力点を注いできたことに対し批判的な立場をとりつつ、職人などの非農業民や女性のあり方を考察してその歴史的 position について論じている。とくに、日本列島における「差別」意識の歴史的あり方やその変化のあり方について踏み込んだ検討をしており、そうした問題について理解を深めるきっかけになるだろう。
- (6) 推薦者 : 守田逸人 (教育学部)

2021年度「書物との出会い ハ（視ることと読むこと）」リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

(1) 書誌情報／(2) その本が関連する学問領域／(3) キーワード：その本が関連するテーマなど／(4) 本の難易度：数が大きいほど難易度が高い／(5) 推薦した教員のコメント／(6) 推薦者の名前、所属

- (1) レイ・ブラッドベリ (2014 年) 『華氏 451 度』、早川書房、978 円、ISBN:978-4150119553
- (2) 学問領域：サイエンスフィクション
- (3) キーワード：SF、書物と文化
- (4) 難易度 1
- (5) 書物を読む上で、書物とは何かを考えることができる SF 作品。書物が世界から消えたらどうなるのでしょうか。そんな IF を刺激的に描く SF 名作です。
- (6) 推薦者：柴田悠基 (創造工学部)

- (1) 佐藤 卓己 (2020 年) 『メディア論の名著 30』、筑摩書房、1,100 円、ISBN:978-4480073525
- (2) 学問領域：メディア論
- (3) キーワード：メディア文化、マス・メディア、世論、情報社会
- (4) 難易度 2
- (5) メディア論は技術をベースに考察されるため時代とともに絶えず変化する学問です。本書籍は各時代のメディア論を体系化し、現代のメディア論を考察するために必要な知識を一冊にまとめています。
- (6) 推薦者：柴田悠基 (創造工学部)

- (1) レフ・マノヴィッチ (2018 年) 『インスタグラムと現代視覚文化論』、ビー・エヌ・エヌ新社、3,850 円、ISBN:978-4802511018
- (2) 学問領域：メディア論
- (3) キーワード：メディア文化、インスタグラム、写真、デジタルメディア
- (4) 難易度 3
- (5) インスタグラムにアップロードされる膨大な写真を分析した新しい写真論。インスタグラムを学術的に解釈する一例として興味のある方は挑戦してみましよう。
- (6) 推薦者：柴田悠基 (創造工学部)

- (1) 白倉伸一郎 (2004 年) 『ヒーローと正義』子どもの未来社、絶版、ISBN:9784901330428
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：特撮ヒーロー、正義、プロデューサー
- (4) 難易度 1
- (5) 「特撮ヒーロー番組なんて、所詮子どもだましでしょ」なんてあなたが思っているのだとしたら大間違い！特撮ヒーロー番組の見え方だけでなく、「社会」の見え方も変わってしまう、推薦者一押しの一冊です。
- (6) 推薦者：葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 鈴木美潮 (2015 年) 『昭和特撮文化概論 ヒーローたちの戦いは報われたか』 集英社クリエイティブ、1,500 円、ISBN:9784420310710
- (2) 学問領域: 社会学
- (3) キーワード: 特撮ヒーロー、時代と世相、新聞記者
- (4) 難易度 2
- (5) 特撮ヒーロー番組に時代と世相が如実に反映されていることがよくわかります。特撮ヒーロー 番組に限らず、その背景まで理解することによって見え方が変わることを (改めて) 気づかせてくれる一冊です。
- (6) 推薦者: 葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 宇野常寛 (2011 年) 『リトル・ピープルの時代』 幻冬舎、907 円 (文庫)、ISBN:9784344423244
- (2) 学問領域: 社会学
- (3) キーワード: 村上春樹、仮面ライダー、震災、現代社会論、評論家
- (4) 難易度 3
- (5) 特撮ヒーロー番組 (特に仮面ライダー) について、戦後日本の変貌との関連から「大真面目に」論じている一冊。「こんな風に解釈することができるのか!」と思わず唸らされること間違いありません。質的にも量的にも (600 頁弱) 読み応え十分です。
- (6) 推薦者: 葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 斎藤美奈子 (2001 年) 『紅一点論ーアニメ・特撮・伝記のヒロイン像ー』 筑摩書房、842 円 (文庫)、ISBN:9784480036667
- (2) 学問領域: 社会学
- (3) キーワード: アニメ、特撮、ジェンダー
- (4) 難易度: 2
- (5) 特撮ヒーロー番組だけでなく、アニメ番組のヒロインがどのように描かれているのかがよくわかる一冊です。アニメ番組には女兒向けのものも多く取り上げられているので、女子学生には特にお勧めします。
- (6) 推薦者: 葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 須川亜紀子 (2013 年) 『少女と魔法ーガールヒーローはいかに受容されたのかー』 NTT 出版、4104 円、ISBN:9784757143098
- (2) 学問領域: 社会学
- (3) キーワード: 魔法少女、ジェンダー
- (4) 難易度: 3
- (5) いわゆる「魔法少女」モノのヒロインがどのように描かれているのかを分析した一冊です。少し難しく感じるかもしれませんが、プリキュアシリーズまで網羅されているので、好きな学生 (女子学生に限られません) には特にお勧めします。
- (6) 推薦者: 葛城浩一 (大学教育基盤センター)

- (1) 若桑みどり (2003年) 『お姫様とジェンダー』 ちくま新書、740円、ISBN-10 : 4480061150
- (2) 学問領域 : 社会学、ジェンダー・スタディーズ
- (3) キーワード : ジェンダー
- (4) 難易度 2
- (5) 白雪姫、シンデレラ、眠り姫などのディズニーアニメをジェンダーの視点から読み解く。筆者の授業を受けた学生の感想も掲載されており、この本を読み終えた後には、これまでとは異なったディズニーアニメの見方ができるようになっているはず。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 本橋哲也 (2015年) 『ディズニー・プリンセスのゆくえ』 ナカニシヤ出版、2160円、ISBN-10: 4779510589
- (2) 学問領域 : 社会学、カルチュラル・スタディーズ
- (3) キーワード : ディズニー
- (4) 難易度 2
- (5) 白雪姫やシンデレラといったディズニーアニメから、近年の実写版シンデレラやマレフィセントまでを題材として扱い、カルチュラル・スタディーズの側面からディズニー・プリンセスについて考察した本。上記の『お姫様とジェンダー』と比較しても興味深い。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 伊藤公雄・牟田和恵編 (2015年) 『ジェンダーで学ぶ社会学 (全訂新版)』 世界思想社、1,944円、ISBN : 4790716686
- (2) 学問領域 : 社会学
- (3) キーワード : ジェンダー、社会学
- (4) 難易度 2
- (5) 「育つ」「学ぶ」からはじまり「シェーカツする」「愛する」「ケアする」等、この本ではトピックごとにジェンダーについて学ぶことができる。社会学領域におけるジェンダー論の基本はもちろんのこと、変化球も組み込まれており、何かしらの新しい視点を提示してくれるはず。
- (6) 推薦者 : 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 野口芳子 (2016年) 『グリム童話のメタファー: 固定観念を覆す解釈』 勁草書房、3024円、ISBN : 4326800585
- (2) 学問領域 : ジェンダー・スタディーズ
- (3) キーワード : ジェンダー、グリム童話、メタファー
- (4) 難易度 2
- (5) 本書では、メタファーを解説しながらグリム童話を読み進める。その際には、中世、近世、近代の価値観についての検証が欠かせない。特に、男性・女性それぞれに求められる社会的期待の違い、ジェンダーを意識することで、グリム童話に対する新解釈を可能とする。
- (6) 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 有馬哲夫 (2003 年) 『ディズニーの魔法』新潮社、756 円、ISBN : 4106100444
- (2) 学問領域 : メディア論
- (3) キーワード : メディア、ディズニー、民話
- (4) 難易度 1
- (5) ディズニー・マジックによって、ヨーロッパの古典童話は「アメリカの民話」となった。本書は、原作とディズニーアニメを比較しながら、その変更の舞台裏を紹介する。ディズニーアニメがいかに関人の意識を反映させているのか、検討する際の参考にしてほしい。
- (6) 西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 西村清和 (1995 年) 『現代アートの哲学』産業図書、3080 円、ISBN:9784782802021
- (2) 学問領域 : 哲学、美学、芸術学
- (3) キーワード : 美、芸術、アート、フィクション、偽物と本物、技術
- (4) 難易度 : 2
- (5) 写真や映画、テレビ、Youtube の映像、ダウンロードした音楽、広告イメージ、印刷による複製…私たちは日々様々な音やイメージに触れ、「美しい」ものとして消費しています。本書はそれらの多様な「美」の経験にどのような哲学的な問題が潜んでいるのか考えさせてくれる書物です。様々な「美」の経験についての洗練された考察は「深く考えること」の最良のモデルといえます。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 佐々木健一 (2019 年) 『美学への招待 増補版』中央公論新社、1100 円、ISBN: 9784121917416
- (2) 学問領域 : 哲学、美学、芸術学
- (3) キーワード : 美、芸術、近代、センス (感性、感覚)、コピー、身体、伝統
- (4) 難易度 : 1
- (5) 「美学」とは、文字通り「美」について考える学問。なにやら難しそうですが、本書は「生活の中の疑問符を拾い上げる」という方法をとっており、前提となる知識がなくても、すつと入っていくことができます。「美学」の知識のみならず日常を見る視点にも変化を与えてくれる良書です。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 御子柴義之 (2015 年) 『自分で考える勇気 カント哲学入門』、岩波ジュニア新書、907 円、ISBN : 9784005007981
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード : 理性、批判、自律、啓蒙、美
- (4) 難易度 : 1
- (5) 「カントの原典にいきなり挑戦するのはちょっと…」と思っているみなさんに、まず読んでもらいたい一冊。美の問題も含めて、身近な出来事とのつながりで、カント哲学のエッセンスと「自分で考えること」の大切さを教えてくれます。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 石川文康 (1995年) 『カント入門』、ちくま新書、907円、ISBN : 978-4480056290
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード : 理性、批判、認識、道徳、美
- (4) 難易度 2
- (5) 理性自体に人間を欺く可能性がある—このショッキングな事実の発見こそがカント哲学の出発点だとして、そこから著者はカント哲学の全体像を読み解いていきます。本書を読めば、美の問題がカントの哲学体系の中でどのように位置付けられているのかもわかるはずです。

推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 柳宗悦 (1985年) 『手仕事の日本』岩波書店、990円 (文庫) 924円 (Kindle)、ISBN : 978-4003316924
- (2) 学問領域 : 民俗学、哲学
- (3) キーワード : 民藝品、日本文化、伝統
- (4) 難易度 : 1
- (5) 「民藝」の父、柳宗悦が若者のために著した日本を旅する一冊。全国各地の民芸品を訪れ、かわいらしい挿絵とともに紹介が続く。読後は民芸品を探しに行きたくなります。『民藝の日本』とセットでぜひ。
- (6) 推薦者 : 大村隆史 (地域連携・生涯学習センター)

- (1) 志賀直邦 (2016年) 『民藝の歴史』筑摩書房、1,430円、ISBN : 978-4480097347
- (2) 学問領域 : 芸術、社会学
- (3) キーワード : 民藝運動、歴史
- (4) 難易度 : 2
- (5) 「民藝」が生まれた社会と経済に生きた人物たちはどのような関係を築いてきたのか。人物関係史的に「民藝」を読み解く一冊といえます。
- (6) 推薦者 : 大村隆史 (地域連携・生涯学習センター)

- (1) リチャード・セネット (高橋 勇夫 訳) (2016年) 『クラフツマン : 作ることは考えることである』、筑摩書房、4,400円、ISBN : 978-4480864451
- (2) 学問領域 : 社会学、哲学
- (3) キーワード : 手仕事、職人気質
- (4) 難易度 : 3
- (5) 丁寧な手仕事の意味と意義を考える一冊です。古代の煉瓦職人からヴァイオリンづくりの作業場、現代のLinuxプログラマーまで、西洋の職人的技能に関する考察を通じて、その現代的な意義を探ります。
- (6) 推薦者 : 大村隆史 (地域連携・生涯学習センター)

- (1) 山本浩貴 (2019) 『現代美術史：欧米、日本、トランスナショナル』中公新書、1056 円、ISBN : 9784121025623
- (2) 学問領域：美学、社会学
- (3) キーワード：現代美術、芸術と社会、トランスナショナリズム
- (4) 難易度：1
- (5) 「芸術と社会」をテーマに、欧米の芸術実践や日本美術の動向だけでなく、トランスナショナルな視座からも現代美術史を論じているため、ポストコロニアリズムの思想との関連もみえてきます。さらに、「芸術と社会」の負の側面にもふれているので、その部分も注目してください。
- (6) 推薦者：小坂有資（大学教育基盤センター）

- (1) アート&ソサイエティ研究センター SEA 研究会編 (2018) 『ソーシャリー・エンゲイジド・アートの系譜・理論・実践：芸術の社会的転回をめぐる』フィルムアート社、2860 円、ISBN : 9784845917112
- (2) 学問領域：芸術学、社会学
- (3) キーワード：ソーシャリー・エンゲイジド・アート、芸術の社会的転回、社会的相互作用
- (4) 難易度：2
- (5) 「対話」「参加」「協働」、そして「コミュニティ」といった言葉と関連し、社会との深い関係を志向する芸術実践であるソーシャリー・エンゲイジド・アート。本書には、ソーシャリー・エンゲイジド・アートの歴史と理論、そしてアーティストによる実践記録が掲載されています。
- (6) 推薦者：小坂有資（大学教育基盤センター）

- (1) 宮本結佳 (2018) 『アートと地域づくりの社会学：直島・大島・越後妻有にみる記憶と創造』昭和堂、4620 円、ISBN : 9784812217337
- (2) 学問領域：社会学、美学
- (3) キーワード：地域社会、持続可能なアートプロジェクト
- (4) 難易度：3
- (5) 地域社会とアート側の双方から提起されたアートプロジェクトに対する疑問を整理し、「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ」や「瀬戸内国際芸術祭」の舞台を事例にして、持続可能なアートプロジェクトの展開可能性を示しています。
- (6) 推薦者：小坂有資（大学教育基盤センター）